

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

当院では東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の共同研究に参加しております。
本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】	小児ボタン形・コイン形電池誤飲事故アンケート調査													
1. 研究の目的と方法	<p>【研究の背景と目的】 小児における誤飲事故は後を絶たず、中でもボタン(コイン)形電池の誤飲は時に死に至る重大事故です。我々は2017年に電池誤飲に関する全国アンケート調査を施行し、5年間で939件もの誤飲事故が起こっていることが分かりました。その事実を受け、日本電池工業会を中心にコイン形電池のパッケージを小児が容易に開けられないようにしたり、電池の表面に誤飲防止のピクトグラムを刻印するなどの工夫を行ってきました。</p> <p>今回我々は、それら工夫の効果を確認するために、第2回目の全国アンケート調査を行うこととしました。</p> <p>【方法】 日本小児外科学会認定施設、日本小児救急学会代議員施設および日本小児内視鏡研究会会員施設にアンケート用紙を送付し、2019年1月1日から2023年12月31日に各施設を受診した、電池誤飲の症例数を回答頂きます。また、ボタン形電池かコイン形電池か、その症例の合併症の有無などを回答してもらいます。</p>													
2. 研究期間	2026年1月6日～2026年9月30日まで、研究の実施を予定しています。													
3. 対象となる方等	ボタン形またはコイン形電池を誤飲した患者さんで、2019年1月1日～2023年12月31日の間に日本小児外科学会認定施設、日本小児救急学会代議員施設および日本小児内視鏡研究会会員施設で治療（検査）を受けた患者さんです。													
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。												
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。												
	(3)情報の種類	誤飲した電池の種類、受診時の電池の位置（食道内、胃内、十二指腸以降）、摘出方法、合併症の有無 症例数のみの集計のため、名前、性別、年齢など個人が特定される情報は含みません。												
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。												
5. 研究の実施体制	<p>あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。</p> <table><tr><td>(1)研究責任者または研究代表者</td><td>研究機関名</td><td>東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科</td></tr><tr><td></td><td>氏名</td><td>大橋伸介</td></tr><tr><td>(2)施設の長</td><td colspan="2">東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥</td></tr><tr><td>(3)当施設の試料・情報の</td><td colspan="2">(1)の研究責任者と同じ</td></tr></table>		(1)研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科		氏名	大橋伸介	(2)施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥		(3)当施設の試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ	
(1)研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科												
	氏名	大橋伸介												
(2)施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥													
(3)当施設の試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ													

管理責任者	
(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	<ol style="list-style-type: none"> 北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅰ 特任助教 河原仁守 弘前大学医学部附属病院小児外科 准教授 平林健 秋田大学医学部小児外科 病院教授 水野大 山形大学医学部附属病院第二外科 准教授 風間理郎 宮城県立こども病院消化器科 科長 角田文彦 石巻赤十字病院小児外科 部長 西功太郎 群馬大学大学院総合外科学講座小児科分野 講師 石毛崇 群馬県立小児医療センター外科 診療科長 西明 茨城県立こども病院 小児総合診療科・消化器肝臓科 医長 斎藤博大 栃木医療センター小児外科 医長 小林めぐみ 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児外科 教授 照井慶太 自治医科大学さいたま医療センター小児外科 学内講師 後藤俊平 埼玉県立小児医療センター消化器肝臓科 科長 岩間達 川口市立医療センター小児外科 医長 原田篤 獨協医科大学埼玉医療センター小児疾患外科治療センターセンター長 土岡丘 埼玉医科大学小児外科 助教 泊 卓志 埼玉医科大学総合医療センター肝胆脾外科・小児外科 教授 井上成一朗 千葉大学医学部小児外科 助教 箕田諭 順天堂大学浦安病院 小児外科 准教授 田中奈々 東京ベイ・浦安市川医療センター小児外科 部長 小笠原有紀 東京科学大学小児外科 科長・准教授 岡本健太郎 昭和大学江東豊洲病院小児外科 教授 吉澤穰治 東邦大学医療センター大森病院小児外科 准教授 高橋正貴 国立成育医療センター外科 部長 石丸哲也 東京女子医科大学小児外科 臨床教授 世川修 日本大学医学部附属板橋病院小児外科 助教 星玲奈 東京都立小児総合医療センター消化器科 医長 細井賢二 東海大学医学部附属病院八王子病院小児外科 臨床准教授 鄭英里 町田市民病院外科 外科 医長 蝶間善章 日本医科大学武蔵小杉病院小児外科 部長 高橋翼 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院小児外科 部長 菅沼理江 神奈川県立子ども医療センター外科 部長 北河徳彦 済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科 部長 梅津守一郎

34. 北里大学病院小児外科 准教授 高安肇
35. 東海大学医学部附属病院 小児外科 教授 渡邊稔彦
36. 金沢医科大学小児外科 主任教授 岡島英明
37. 新潟市民病院小児外科 副部長 仲谷健吾
38. 新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻機能
再建医学講座小児外科学分野 教授 木下義晶
39. 信州大学医学部 保健学科 教授 中山佳子
40. 静岡県立こども病院小児外科 医長 坪井浩一
41. 総合病院聖隸三方原病院小児科 医長 南野初香
42. 聖隸浜松病院小児外科 部長 田中圭一朗
43. 浜松医科大学小児外科 特任教授 澤井利夫
44. 名古屋大学小児外科 医長 太田和樹
45. 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター小児外科 教授
佐藤陽子
46. あいち小児保健医療総合センター小児外科 部長 小野靖之
47. 愛知県医療療養総合センター中央病院小児外科 医長 横田
一樹
48. 藤田医科大学医学部小児外科 教授 井上幹大
49. 岐阜大学消化器外科・小児外科 特任准教授 加藤統純
50. 三重県立総合医療センター小児外科 部長 内田恵一
51. 三重大学附属病院小児外科 講師 松下航平
52. 近江八幡市立総合医療センター小児外科 副部長 竹本正和
53. 大阪市立総合医療センター救急部 副部長 石川順一
54. 市立東大阪医療センター小児外科 部長 中井弘
55. 大阪母子医療センター小児外科 主任教授 奈良啓悟
56. 京都大学医学部附属病院小児科 助教 日衛嶋栄太郎
57. 京都府立医科大学小児外科 教授 小野滋
58. 京都第一赤十字病院小児外科 副部長 坂井宏平
59. 奈良県立医科大学消化器総合外科 助教 州尾昌伍
60. 神戸大学医学部附属病院小児外科 教授 尾藤 祐子
61. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科・小児救命救急セン
ター 部長 伊原崇晃
62. 兵庫医科大学小児外科 准教授 田附裕子
63. 県立広島病院小児外科 主任部長 大津一弘
64. 広島市立舟入市民病院小児科 部長 佐藤友紀
65. 愛媛大学医学部附属病院消化器腫瘍外科 講師 枝屋隆太
66. 九州大学大学院医学研究院小児外科分野 教授 田尻達郎
67. JCHO 九州病院小児外科 医長 竜田恭介
68. 福岡市立こども病院小児外科 科長 林田真
69. 熊本赤十字病院小児科 副部長 余湖直紀
70. 熊本労災病院小児外科 部長 大矢雄希
71. 大分県立病院小児外科 部長 伊崎智子
72. 鹿児島市立病院小児外科 部長 鳥飼源史

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報は含みません。情報提供元の施設に新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2025 年 11 月頃～</p>
【問い合わせ先】	<p>研究代表施設機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科 研究代表者：助教 大橋 伸介（おおはし しんすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 9:00 ～ 16:00</p> <p>共同研究機関名：熊本赤十字病院 研究責任者：小児科 余湖 直紀 電話番号：096-384-2111（代）</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。